



土づくり・施肥のポイント

稲わら等の有機物を投入し、土壌改良剤を散布しましょう。多肥施肥は、病害虫の発生や食味の低下を招きます。適正な施肥を心掛けましょう。

除草剤のポイント

水を入れた状態で水口、水尻をしっかり止め、散布後7日間は落水、かけ流しを行わないようにしましょう。均一な散布を心掛けましょう。

病害虫防除のポイント

【スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)】
ピンク色の卵は水中に落としてください。スクミリンゴガイが活動を始めた時が薬剤散布のタイミングです。**絶対に卵は手で触らないでください!**

【カメムシ】
畦畔や圃場周辺の除草を行うことで発生リスクは低減します。適期に薬剤散布を行いましょう。

中干しのポイント

莖数20~30本(田植え後35~40日)で開始します。田面にヒビが入ったら(または中干し10~15日後)中干しを終了します。中干し終了後は水をしっかりと入れましょう。

草刈りのポイント

水田付近の雑草は、病害虫の発生源となるため、こまめに行いましょう。出穂2週間前から穂が色づき始める頃までは、カメムシ類を水田に追い込むので草刈りを控えましょう。

水管理のポイント

【田植え時】
田植え前に水を抜いて1cm程度の水位にしましょう。

【出穂時】
出穂前後の水切れに注意しましょう。心白・乳白米対策のため開花期に間断かん水をするなどして、水温が下がらないようにしましょう。

【収穫前】
早期に落水しないようにしましょう。ただし水はけの悪い田んぼは早めに落水しましょう。晴天が続き、田面が白くなる場合は走り水を入れましょう。

土づくり

使用時期	資材名
収穫後~代かき2週間前	農力アッププラス
出穂の40日前頃	ケイ酸加里プレミアム34
稲刈後~できるだけ早く(寒くなる前)	石灰窒素

除草② 中・後期除草剤 ※初・中期除草剤を散布し雑草が残った場合に使用します。

使用時期	資材名
移植後14日~ノビエ4葉期 但し収穫60日前まで	ツイゲキ 1キロ粒剤 または ツイゲキ 豆つぶ250
移植後14日~ノビエ3.5葉期 但し収穫45日前まで	セカンドショットSジャンボMX
移植後14日~ノビエ5葉期 但し収穫50日前まで	トドメMF 1キロ粒剤

除草① 初・中期除草剤 ※田植え直後

使用時期	資材名
移植時~ノビエ3葉期 但し収穫60日前まで	エンペラー1キロ粒剤
移植直後~ノビエ3葉期 但し収穫60日前まで	エンペラー豆つぶ250
移植直後~ノビエ3葉期 但し移植後30日まで	エンペラージャンボ

防除 病害虫防除(スクミリンゴガイ・カメムシ類・ウンカ類)

使用時期	資材名	対象病害虫
① 適期は移植直後 但し収穫60日前まで	スクミノン	スクミリンゴガイ
② 適期は出穂3日前(※) 但し収穫7日前まで	スタークル豆つぶ	カメムシ類 ウンカ類
③ 適期は出穂の7~10日後 但し収穫14日前まで	キラップフロアブル	カメムシ類 ウンカ類

※イネカメムシの防除適期を記載。斑点米カメムシの防除適期は出穂の7~10日後です。

備考欄

カメムシ類対策として、スタークル豆つぶとキラップの2回防除を推奨します。但し、同じ資材を2回散布しないように注意しましょう。薬剤に抵抗性をもつ害虫発生の恐れがあります。

※7年1月22日登録反映
※農薬の使用にあたっては、有効期限(最終有効年月)以内の農薬を、ラベルの記載に従って使用してください。